

学 校 案 内

(令和8年度入学生用)



校 訓
誠 実
思 索
実 践



和歌山市立和歌山高等学校定時制

TEL 073-461-3691 FAX 073-461-4038
URL <https://www.wakayama-wky.ed.jp/ichiko-teijisei/>

ビジネス実践科の特色

商業における4分野のうち、会計分野とマネジメント分野の学習を柱に、思考力や判断力等を養い、ビジネスの諸活動に取り組むための基礎・基本の習得を目指します。

ビジネス実践科

教育課程表

令和8年度入学生用

学 科			標準 単位数	ビジネス実践科				履修 単位数	備考	
学 年				1年	2年	3年	4年		教科別履修 単位数	選択上の留意点等
教科 目	国語	現代の国語	2	2				2	10②	※印は学校設定科目 ○囲みの数字は0に限 授業の単位数。 【学校外の学修単位】 下記に記載の単位 修得をのべ4単位ま で認める。 「各種検定試験及 び技能審査合格者 に対する単位修得 認定規則」に従い、 条件を満たした 場合、対応する 「スキルアップ （教科名）」の 単位として認定 する。 三修制は、「ビ ジネス基礎（実 務代替）」、 または高等学 校卒業程度 認定試験合 格科目、また は通信制高 等学校にお ける修得科 目を単位と して認定す る。 「情報Ⅰ」（2 単位）を「情 報処理」で代 替する。 「総合的な探 究の時間」（3 単位）を「課 題研究」で代 替する。
		言語文化	2		2			2		
		文学国語	4			4		4		
		国語基礎※	2	②						
		実用国語※	2				2	2		
	地理史	地理総合	2		2			2	5	
		歴史総合	2			3		3		
	公民	公共	2	2				2	4②	
		政治・経済	2		②		2	2		
	数学	数学Ⅰ	3	3				3	5②	
		数学A	2		2			2		
		数学B	2			②				
	理科	科学と人間生活	2	2				2	6	
		生物基礎	2			2		2		
		化学基礎	2				2	2		
	保健体育	体育	7～8	3	2	2	1	8	10	
		保健	2	1	1			2		
	芸術	美術Ⅰ	2			2		2	2	
		外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2			4	
	論理・表現Ⅰ		2				2	2		
家庭情報	家庭基礎	2		2			2	2		
	情報Ⅰ	2								
普通科目合計				15②	13②	13②	9	50	50⑥	
商業	ビジネス基礎	2～4	2				2	26⑨		
	課題研究	2～4			③	3	3			
	総合実践	2～4			2		2			
	マーケティング	2～4		2			2			
	ビジネス・マネジメント	2～4		③						
	ビジネス法規	2～4				3	3			
	簿記	2～4	2	2			4			
	財務会計Ⅰ	2～4				2	2			
	情報処理	2～4		2	2		4			
	ソフトウェア活用	2～4				2	2			
	簿記探究※				2		2			
専門科目合計				4③	6③	6③	10	26	26⑨	
合 計				19⑤	19⑤	19⑤	19	76⑮	76⑮	
総合的な探究の時間				0	0	0	0	0	0	
ホームルーム活動				1	1	1	1	4	4	
総 合 計				20⑤	20⑤	20⑤	20	80⑮	80⑮	

ビジネス情報科の特色

商業における4分野のうち、ビジネス情報分野とマーケティング分野の学習を柱に、社会のニーズに即応した専門技術の習得に努め、実務に役立つ基礎・基本技能の習得を目指します。

ビジネス情報科

教育課程表

令和8年度入学生用

学 科			標準 単位数	ビジネス情報科				履修 単位数	備考	
学 年				1年	2年	3年	4年		教科別履修 単位数	選択上の留意点等
教 育 科 目	国 語	現 代 の 国 語	2	2				2	10②	※印は学校設定科目 ○囲みの数字は0 限 授業の単位数。 【学校外の学修単位】 下記に記載の単位 修得をのべ4 単位ま で認める。 「各種検定試験及 び技能審査合格者に 対する単位修得認定 規則」に従い、条件 を満たした場合、対 応する「スキルアップ （教科名）」の単位 として認定する。 三修制は、「ビジ ネス基礎（実務代 替）」、または高等学 校卒業程度認定試験 合格科目、または通 信制高等学校におけ る修得科目を単位と して認定する。 「情報Ⅰ」（2 単位） を「情報処理」で代 替する。 「総合的な探究の時 間」（3 単位）を「課 題研究」で代替する。
		言 語 文 化	2		2			2		
		文 学 国 語	4			4		4		
		国 語 基 礎 ※	2	②						
		実 用 国 語 ※	2				2	2		
	地 理 史	地 理 総 合	2		2			2	5	
		歴 史 総 合	2			3		3		
	公 民	公 共	2	2				2	4②	
		政 治 ・ 経 済	2		②		2	2		
	数 学	数 学 I	3	3				3	5②	
		数 学 A	2		2			2		
		数 学 B	2			②				
	理 科	科 学 と 人 間 生 活	2	2				2	6	
		生 物 基 礎	2			2		2		
		化 学 基 礎	2				2	2		
	保 育	体 育	7～8	3	2	2	1	8	10	
		保 健	2	1	1			2		
	美 術	美 術 I	2			2		2	2	
		外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2			4	
	論 理 ・ 表 現 I		2				2	2		
家 庭 科	家 庭 基 礎	2		2			2	2		
	情 報 I	2								
普 通 科 目 合 計			15②	13②	13②	9	50	50⑥		
商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2～4	2				2	26⑨		
	課 題 研 究	2～4			③	3	3			
	マ ー ケ テ ィ ン グ	2～4		2			2			
	商 品 開 発 と 流 通	2～4			2		2			
	簿 記	2～4		2			2			
	情 報 処 理	2～4	2	2			4			
	ソ フ ト ウ ェ ア 活 用	2～4			2		2			
	ネ ッ ト ワ ー ク 活 用	2～4		③						
	ビ ジ ネ ス 法 規	2～4				3	3			
	文 書 処 理 ※					2	2			
	ビ ジ ネ ス 情 報 ※				2		2			
	ソ フ ト ウ ェ ア 探 究 ※					2	2			
専 門 科 目 合 計			4③	6③	6③	10	26	26⑨		
合 計			19⑤	19⑤	19⑤	19	76⑮	76⑮		
総 合 的 な 探 究 の 時 間			0	0	0	0	0	0		
ホ ー ム ル ー ム 活 動			1	1	1	1	4	4		
総 合 計			20⑤	20⑤	20⑤	20	80⑮	80⑮		

こんな学校です

一人ひとりの人づくりを大切に、
心豊かな社会人を育成。

●3年間で卒業する三修制も選べます。
(卒業に必要な単位を修得すれば3年間で卒業できます)

●毎日4時間授業です。
(三修制の場合は毎日5時間授業です)

●各種の検定資格取得を目指します。
(情報処理・ワープロ・簿記検定など)

●楽しい学校行事がたくさんあります。

新入生歓迎行事(5月)・観月会(9月)・遠足(10月)・文化祭(11月)・予餞会(2月)など

●日課表は以下のとおりです。

0限(16:50~17:35)

SHR(17:35~17:40)

1限(17:40~18:25)

給食・休憩(18:25~18:35)

2限(18:35~19:20)

3限(19:25~20:10)

4限(20:15~21:00)

スクールポリシー

【ビジネス実践科】

○アドミッション・ポリシー(求める生徒像)

- (1) 勤労と勉学を両立させようとする強い意志を持ち、将来ビジネス社会で活躍できる基本知識を得ようと積極的に取り組む生徒。
- (2) 規律ある生活ができ、自ら積極的に学習に取り組む生徒。

○カリキュラム・ポリシー(教育課程や教育の方針)

- (1) 教育目標に基づき、必修教科科目、会計分野とマネジメント分野を中心とした専門科目、その他必要とする科目を体系的に編成し、将来の就業に関する基礎的知識・技能を修得するための講義、演習、実習等を適切に組み合わせた教育を行います。
- (2) 商業科目に関連する検定試験に積極的にチャレンジし、学年が進行するにあたりスキルアップを図る。

○グラデュエーション・ポリシー(卒業時に身につける力等)

- (1) 会計分野とマネジメント分野の学習を柱に、思考力や判断力等を備えた生徒の育成を目指します。
- (2) 「知」「徳」「体」のバランスの取れた人材の育成を目指します。
- (3) 「確かな学力」を備え、地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

【ビジネス情報科】

○アドミッション・ポリシー(求める生徒像)

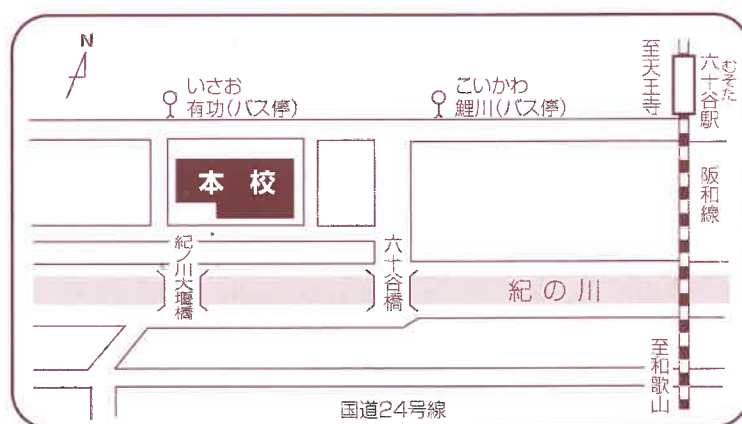
- (1) 勤労と勉学を両立させようとする強い意志を持ち、コンピュータ等のビジネス学習に興味を持つ生徒。
- (2) 規律ある生活ができ、自ら積極的に学習に取り組む生徒。

○カリキュラム・ポリシー(教育課程や教育の方針)

- (1) 教育目標に基づき、必修教科科目、コンピュータを中心とした専門科目、その他必要とする科目を体系的に編成し、将来の就業に関する基礎的知識・技能を修得するための講義、演習、実習等を適切に組み合わせた教育を行います。
- (2) 商業科目に関連する検定試験に積極的にチャレンジし、学年が進行するにあたりスキルアップを図る。

○グラデュエーション・ポリシー(卒業時に身につける力等)

- (1) ビジネス情報分野とマーケティング分野の学習を柱に、社会のニーズに即応した専門技術の修得と、実務に役立つ基礎・基本技能を修得した人材の育成を目指します。
- (2) 「知」「徳」「体」のバランスの取れた人材の育成を目指します。
- (3) 「確かな学力」を備え、地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。



本校定時制東門までは
阪和線六十谷駅下車西へ徒歩約十五分
和歌山バス鯉川下車西へ徒歩約五分